

我が国企業の新興国市場の獲得に関する調査研究

(報告書の概要)

インド、アフリカ、中南米などの新興国経済は急成長を遂げており、世界経済発展の牽引車として期待されている。わが国産業・企業も有望な投資先として注目しており、多くの企業が新興国市場に向けて積極的に事業展開しているところであるが、その市場占有率は他国に押される形で低下している。この様な背景のもと、本調査研究では新興国市場におけるわが国産業・企業の市場占有率低下の要因や背景を探った。

その結果、わが国企業が新興国市場を獲得するためには、中国での投資パフォーマンスを高める必要があることが明らかになった。わが国の企業は活発に中国に進出しているが、その投資パフォーマンスは必ずしも良好ではない。要素コストの高騰、現地での取引慣行や規制などの影響が危惧される。中国市場は、2008年の世界同時不況により一時的に経済成長が減速したものの、他国に比べていち早く景気回復するなど活気を取り戻しつつある。中国進出における課題の克服が新興国市場獲得のカギとなる。

(報告書の主要構成)

- (1) 日本の貿易構造
- (2) 日本の投資構造
- (3) 日本の消費構造
- (4) 参考資料